

沙羅の樹文庫だより

文庫あれこれ◆2週間ほど前、スタッフのMさんに誘われてNさんと3人で手織りの松阪嶋(綿)木綿の展示会に松阪まで出かけました。藍染の様々な縞模様にも目の保養が出来ました。Mさんの友人に街なかを案内していただき、古い城下町の佇まいを楽しみました。もちろん、お昼には松坂牛を食しましたよ。◆次の日は、知人Hさん(昨年5月に文庫でも講演してくれた)のお話を聞きに河津に行ってきました。あいにくの雨もよいの日でしたが、会場の図書館への途々河津桜と菜の花が雨に映えて美しかったです。◆大きい小さいのと、地震が頻発しています。昨年の災害から1年が過ぎました。被災された方々にとって簡単には平穏な日々は還って来ないとは思いますが、それでもそこそこ、あちこちで大勢の人々が何とかできることはと考え行動しています。17日にはM市でチャリティおはなし会がありました。集まった寄付金は福島県・宮城県の図書館の流出してしまった本の補充にあてるそうです。そして、ここ、伊豆高原でもここに住み歌うことを愛する方々によるチャリティコンサートを始め、この春休みには、先月号「伊豆高原だより」に健康食品について書いてくださった安倍川さんや絵本の家などが中心になって福島の子どもたちを招待するそうです。それを賄うために大勢の人々の応援があるように聞きます。今回の「伊豆高原だより」は番外編ですが、このときつづいたCDを伊豆高原に来た福島の子どもたちにあげたいと思います。◆3.11のことは、わが身をそこにおいて、長期の支援と展望を持ちたいものですね。◆一番上の孫が今日、小学校を卒業。初めての孫で両親のほか曾祖母、祖父母叔父伯母たちに可愛がられ今までのびのび、のほほんとして育ってきましたが、バレエが続きたい一念で受験もし、その間のストレス太りで母親の方がカリカリしています。◆花粉症が始まりました。私は喉がやられますが、先日あまりに喉がヒリヒリしたのでためにウィスキーを痛みの箇所流し込んだら何と痛みがとれちゃいました。高アルコール度のせい?◆東京で昼前から降り出した雨はさらに激しさを増しています。今月は雨の文庫? 皆さんがそれでも文庫に足を運んでくださるのを願って新入庫本の受け入れをやっています(24日未明)。◆晴れた! 庭の河津桜、今満開。(西村)

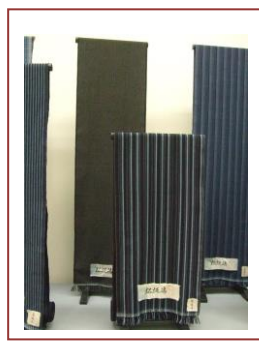
◆2012・文庫の催し物◆
 ☆若葉のころのおはなし会☆
 5月19日 午後5:30~7:30(大きい人向け)
 1部: いろいろな国の昔話 2部: 創作
 5月20日 午前10:30~11:30(子ども向け)
 読み聞かせ・日本の昔話
 (アートフェスティバル参加 16~20日)
 ☆海の日のおはなし会☆
 7月15日 午後5:00~7:30 伊豆高原駅・大楠の下
 ♥文庫開館記念子どものおはなし会♥
 7月16日 午前10:30~12:00
 ♪秋の夜長のおはなし会♪
 10月20日 午後5:00~7:00(おとなの人向け)
 ♪秋のおはなし会♪
 10月21日 午前10:30~11:30(子ども向け)
 あとは、クリスマスおたのしみ会ね!

◆4月は通常 14日(土)、15日(日)
 ◆5月は変則 16日(水)~20日(日)開館
 ◆6月は通常 16日(土)、17日(日)
 ◆7月は通常 14日(土)、15日(日)
 ☆15日は夕から、海の日のおはなし会☆
 海の日 16日(月)は、開館記念日
 ◆8月は、15日(水)~19日(日)
 ☆夏休みロングオープン☆
 ※文庫の時間: 土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時
 ※毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。
 午前10:30~11:00
 《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
 おはなし・沙羅の勉強会は
 毎月第3土曜 11:00~13:00
 伊豆高原の暮らしの中に生まれる身近な喜びをお伝えするコーナーを始めました。
 身近な楽しいホット原稿、お待ちしております。
atsuko@big.or.jp 又は 03-3709-7840 FAXまで



今に残る松阪・武家屋敷(城址からの眺め)

本居宣長の生家あとや、伊勢商人の広大な店構えや黒い土蔵が並ぶかつての目抜き通りは、ゆったりとした歴史の流れに浸れます。(松阪の街)



松阪嶋木綿

春の朝
 金子みすゞ 作
 雀がなくな
 いい日和だな
 うっとり うっとり
 ねむいな
 上の顔はあかうか
 下の顔はまアだよ
 うっとり うっとり
 ねむいな
 (『金子みすゞ全集』JULA 出版)

春分は過ぎたのにまだ寒い...春の陽だまりが待ち遠しいですね。

伊豆高原 たより No.4

『福島から伝えたい』

学生時代からの先輩である宇津本さん（音楽プロデューサー）から声がかかり、先日、南相馬市立石神第一小学校に児童の歌声のレコーディングに行ってきました。

初めて行く福島県。福島駅まで校長先生が車で迎えに来てくれて、ガイガーカウンターを載せながら、綺麗な田舎道を走る約1時間。大きな線量計が校庭の真ん中に立つ、石神第一小学校に着きました。子供たちが思った「言葉」を先生が曲にした『福島から伝えたい』。福島を思うストレートな歌声が反響を呼び、NHKやフジテレビが取材に来ていました。

校庭の除染が終わり、一年振りにやっと校舎に帰って来れた子供たち。マイクを前にはしゃいでいました。そしてレコーディングが始まり、「ちゃんと録らねば」と、こちらも多少緊張していましたが、その歌声を聞いたときは、涙が自然に込み上げて来ました。

この歌が全国の皆さんに届くことを願って、そして、今は高い線量のため親が車で送り迎えせざるを得ない子供たちが、歩いて登校できる日を願います。



石神第1小学校での録音風景

☆今回のこの欄筆者は3女の連れ合いです。夫婦で音楽をやっています。「海の日のおはなし会」で演奏してくれたり、沙羅の樹文庫の歌(片岡采々ちゃん作詞)の曲をつけてく

最近お借りした本についての読後感

2012年3月18日 By 森林浴

『ビッグツリー』佐々木常夫著 Wave 出版 12.1刊

著者は東レとその子会社で活躍し文句なしの成果を上げた優秀なビジネスマン。父親としても、入院続きで妻のいない家庭を守って家事もこなし、全く文句の言いようが無い実績をあげている。しかし、家族とはいえば、長男は生まれながらの自閉症で入退院を繰り返し、長女は一度自殺未遂を図って警察沙汰。夫人は良い主婦だったが肝臓病で入退院を繰り返して、ついには重いうつ病になって何度も自殺を図り死にかかると。模範的な家族になってもおかしくないこの一家がいったいこれはどうなっているの？——生きることの難しさはここに凝縮されている？ しかし、夫人のうつ病については、ふと思った。

「いやそうでなく、彼があまりにも素晴らしい父親だったからこそ、夫人はうつ病になったのかも。奥さんにしてみると、自分が病気などで家庭・家事を放棄しているのに、ご亭主がその穴を完全にカバーしている、では私は一体何なのか、私は要らない人間なのか」と考えるようになった、そして鬱がひどくなっていった、とまあこんな流れも思い浮かぶが、どうなのかな。それにし慰めてもとにかくハッピーエンドになっているので救われるが、やっぱりこの世に生きることは容易じゃない！

『炭鉱に生きる一地の底の人生記録』山本作兵衛著 講談社 11.10刊

この本は何と初版が講談社から昭和47年(1972年)—40年前—に出たもので、2011年にユネスコの「世界記憶遺産」に登録されたのを契機に新装版として再版されたらしい。

明治25年(1892年)生れの筆者は、七歳から石炭山に入ってから炭鉱で50年間働いて1984年に92歳で亡くなった。昭和33年(1958年)(筆者が61歳)の頃から子孫の語り草になるようにと思って本格的にヤマの様子を絵に描き始めた。その後も絵を描き続けて、結局、絵は1千枚以上になった。(そのうち589点の絵

日記・ノートなどがユネスコの「世界記憶遺産」に登録された。)この本は、ヤマの生活、山の米騒動、山の労働、の三部に分かれているが、巻末の田川市立図書館長・永末十士雄氏による良く出来た「解説」によると、画材は明治33年代後半から大正7年までの20年余り(筆者の少年期から青年期—炭鉱の設備が近代化される以前)の体験が中心らしい。

当時の炭鉱の過酷きわまる労働、炭鉱労働者の想像を絶する貧しさ、しかしその中で果敢に生き抜いていく社会の最底辺の庶民の生き様が見事に記録されており、感嘆に堪えない。絵は稚拙ではあるものの、記録性が抜群で、ずっと見続けると知らぬ間に完全に山本作兵衛ワールドに取り込まれてしまう。

一方でふと炭鉱経営で儲けてとてつもない富を蓄積した麻生財閥と「金は喰るほどある。」と豪語した元首相麻生太郎氏を想起した。山本さんが最初に働いたのは、麻生の上三緒炭鉱である。



私は出会った!

今回お借りした本は、私にとってまたとない、珠玉の3冊になりました。(T. S.)

『あなたは誰? 私はここにいる』(姜尚中著 集英社新書)

『最後の授業』(北山修著 みすず書房)

『異郷の陽だまり』(野見山暁治著 生活の友社)



フィクション

『**散り椿**』(葉室麟著 しょうでんしゃ 11 角川書店 12) 『**とにかくうちに帰ります**』(津村記久子著 新潮 12) 『**ピース・オブ・ケーキとトゥワイス・トールド・テールズ**』(金井美恵子著 新潮社 12)

『**慈しみの女神たち上・下**』(ジョナサン・リテル著 菅野昭正ほか訳 集英社 11)※ゴンクール賞ほか受賞 request 『**はるかなる岸辺**』(キャリル・フィリップス著 上野直子訳 岩波書店 11)※request 『**花言葉をさがして**』(ヴァネッサ・ディフェンバー著 金原瑞人、西田佳子訳 ポプラ社 11)

『**冬の灯台が語る時**』(ヨハン・テオリン著 三角和代訳 早川書房 12)※英国推理作家協会賞ほか受賞

俳句

『**拝復-池田澄子句集**』(池田澄子著 ふらんす堂 11)

評論・エッセイ

『**人間 昭和天皇 上・下**』(高橋紘著 講談社 11)※request 『**最悪の戦場に奇跡はなかった**』(高橋伝著 光人社 99)

『**平家かくれ里-写真紀行**』(清水安雄撮影 産業編集センター12)

『**白秋望景**』(川本三郎著 新書館 12)

『**印象派という革命**』(木村泰司著 集英社 12)※request

『**イギリス的風景**』(中島俊郎著 NTT 出版 07)※request

『**屋根裏プラハ**』(田中長徳著 新潮社 12)

『**ぼくはお金を使わずに生きることにした**』(マーク・ボイル著 吉田奈緒子訳 紀伊国屋書店 11)

『**3.11 を心に刻んで**』岩波書店編集部編 岩波書店 12) 『**ポケットのなかの平和**』(いちだまり著 平和文化 11)

新書

『**日本人の死生観を読む - 「明治武士道」から「おくりびと」へ**』(島菌進著 朝日新聞出版 12)※朝日選書 『**喪の悲しみ**』(マリ=フレデリック・バッケ/ミシェル・アヌス著 西尾彰泰訳 白水社 11)※文庫クセジュ

文庫

『**オイアウエ漂流記**』(荻原浩著 新潮文庫 12)

『**私の小裂れたち**』(志村ふくみ著 ちくま文庫 12)

『**二重言語国家・日本**』(石川九揚著 中公文庫 11)

寄贈本

『**恋する小倉百人一首**』(阿刀田高著 潮出版社)

『**祝言日和**』(佐伯泰英著 幻冬舎)

絵本:

『**めのまどあけろ**』(谷川俊太郎ぶん 長新太え 福音館書店)※幼児絵本

『**トラのじゅうたんになりたかったトラ**』(ジェラルド・ローズ文・絵 ふしみみさを訳 岩波書店 11)

『**風の島へようこそ!**』(アラン・ドラモンドさく まつむらゆりこやく 福音館書店 12)※繰り返し繰り返し使える自然のエネルギー、デンマークのある島の人々はどうしたか! おとなにも読んでほしいです。

*あたらしい昔話絵本の試み

広松由希子ぶん 岩崎書店 『**かさじぞう**(いまむかしえほん 1)』(松成真理子え) 『**ももたろう**(いまむかしえほん 2)』(伊藤秀男え)

『**花さかじい**(いまむかしえほん 3)』(堀川理万子え) 『**したきりすじめ**(いまむかしえほん 4)』(ささめやゆきえ) 『**かちかち山**(いまむかしえほん 5)』(阿部弘士え) 『**さるかに**(いまむかしえほん 6)』(及川賢治え) 『**うらしまたろう**(いまむかしえほん 7)』『**みる**

『**なへのや**(いまむかしえほん 8)』(飯野和好え) 『**わかがえりの水**(いまむかしえほん 9)』(スズキコージえ)

『**うらしまたろう**(いまむかしえほん 7)』『**みる**

『**なへのや**(いまむかしえほん 8)』(飯野和好え) 『**わかがえりの水**(いまむかしえほん 9)』(スズキコージえ)

『**さるかに**(いまむかしえほん 6)』(及川賢治え) 『**うらしまたろう**(いまむかしえほん 7)』『**みる**

読み物:

『**遠く不思議な夏**』(齊藤洋作 いたやさとし絵 国土社 11)

『**ミス・ヒッコリーと森のなかまたち**』(キャロライン・シャーウィン・ベイリー作 坪井郁美訳 福音館書店) 『**戦火の馬**』(マイ

ケル・モーパーゴ著 佐藤見果夢訳 評論社
12) ※request 『**ケンスケの王国**』(マイケル・モーパーゴ著 佐藤見果夢訳 評論社 02)

詩集

『**きつねうどん**』(阪田寛夫著 童話屋 11)

以下は 子どもたちへ H さんからの寄贈本です。H さん、いつもありがとうございます。

絵本: 日本

『**おつきさま なにみてる**』(なかじまかおりさく 岩崎書店 11) 『**ひるねのね**』(あべ弘土さく・え ポプラ社 11) 『**すっすっ はっはっ こ・きゅ・う**』(長野麻子作 長野ヒデ子絵 童心社 11)

『**またあしたね**』 『**ただいま**』 『**いただきまーす**』(みこちゃんのせいかつえほん 3 冊セット) (きたやまようこ作 偕成社)

『**やぎのしずかのたいへんなたいへんないちにち**』(田島征三作 偕成社 11) 『**おとうちゃんとぼく**』(にしかわおさむ ぶん・え ポプラ社 12) 『**トントントンをまぢましよう**』(あまんきみこ作 鎌田暢子絵 ひさかたチャイルド 11) 『**おかあさんのまほうのおうかん**』(かたおかけいこ作 松成真理子絵 ひさかたチャイルド 12) 『**とっておきのあさ**』(宮本忠夫作・絵 ポプラ社 11)

『**とうさんとぼくと風のたび**』(小林豊作・絵 ポプラ社 12)

『**小さなよっつの雪だるま**』(長谷川集平

【作】 ポプラ社 11)

絵本: 外国

『**わたし、まだねむたくないの!**』(スージー・ムーア作 ロージー・リーヴエ 木坂涼訳 岩崎書店 11) 『**きこえる きこえる**』(マーガレット・ワイズ・ブラウン作 レナード・ワイズガード絵 小峰書店 98) 『**ステイーヴィーのこいぬ**』(マイラ・ベリー・ブラウン文 ドロシー・マリノ絵 あすなろ書房 11) 『**いつまでも ずっと**』(アン・ストットぶん マット・フェランエ 岩崎書店 12) 『**ノミちゃんのすてきなペット**』(ルイス・スロトキン作 偕成社 11)

『**ゆきがふるよ、ムーミンとロール**』(トーベ&ラルス・ヤンソン作 徳間書店 11) 『**ちび魔女さん**』(ベア・テル・ルナール作 エマ・ド・ウート絵 ひさかたチャイルド 11)

ノンフィクション: タイトルのみ記載

『**しろもくろも、みんなおいで**』 『**とらって すごい!**』 『**草の葉のいろいろ 12 か月**』 『**いきもの図鑑絵本**』 『**ポップアップ人体図鑑**』 『**昆虫の探し方・飼い方大図鑑**』 『**こん虫のへんしん**』 『**日本の祭り大図鑑**』 『**南の島ーカビンガマランギ**』 『**景福宮ー朝鮮王朝の王宮**』 ※大人もどうぞ。『**日本列島いきものたちの物語**』

『**新・どの本よもうかな?**』 ※これで小学生 1~2、3~4、5~6 年生用 3 冊セットそろいました。子どもといっしょに活用してください。

読み物: 低学年

『**つのかくし**』(高田桂子作 文溪堂) 『**レッツとネコさん**』(ひこ・田中さく そうえん社) 『**イチゴがいっぱい**』(竹内もと代作 文研出版) 『**ちっこばあばの泣いた夜**』(福明子作 新日本出版社) 『**まいごの、まいごの、ゴンザレス**』(服部千春作 岩崎書店)

『**ピーターサンドさんのねこ**』(ルイス・スロトキン著 清水真砂子訳 あすなろ書房) 『**ウサギのトトのたからもの**』(ヘルメ・ハイネ著 徳間書店) 『**ふかふかの羽の友だち(ネズミさんとモグラくん 3)**』(ウォン・ハーヴァート著 小峰書店)

高学年 『**もえろ! 卓球部**』 『**がんば! 卓球部**』(横沢彰作 新日本出版社 11) 『**ドラゴニア**』(みおちづる作 角川書店) 『**あわい**』(染谷果子作 小峰書店) 『**黒ねこ亭とすてきな秘密**』(長井理佳作 岩崎書店) 『**1945 年鎮南浦の冬を越えて**』(遠藤みえ子作 長崎出版) 『**津波ものがたり**』(山下文男著 童心社)

『**ぼくって女の子??**』(ルイス・サッカー著 文研出版) 『**ともだちはどこ?**』 『**はるになると**』(アングランド作 ぶんけい)

『**ネジマキ草と銅の城**』(パウル・ビーヘル著 福音館書店 12) 『**チビ虫マービンは転載画家!**』(エリース・ブローチ著 偕成社 11)